

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

こんな社長が倒産させる 友田信男 (東京商工リーチ常務取締役情報本部長)

1. 長年、信用調査会社で倒産取材をしていると、倒産させてしまう社長には、いくつかのパターンがあることがわかる。まず、「会社は自分や一族のものだと思っている」点だ。そもそも会社は株主のもの。ステークホルダー (利害関係者) も従業員をはじめ取引先、債権者など数多い。ひとたび倒産してしまえば、こうした人々に多大な迷惑をかけるにもかかわらず、会社は自分のものだと思っ違いし、いつまでも手放そうとしない。そうしているうちに業績は悪化の一途をたどり、手のつけられないところまでいってしまうのだ。
2. 過去の成功体験を忘れられない人も少なくない。中小企業には、創業者がいまだ社長を務めている会社も多い。もちろん、会社を立ち上げて成長させた実績は評価すべきだ。しかし、時代の移り変わりとともに会社も従業員も変わらなければ、生き残ることはできない。しかし、「俺の時代はこうだった」「そんなやり方はおかしい。こうやって成功してきたのだから、そのとおりのやり方ばいいんだ」と社員に怒鳴り散らす社長はそこら中にいる。現状が見えていないのだから、将来など言わずもがな。倒産まっしぐらだ。
3. そしてひどい例になると、会社を自分の財布と勘違いし、何でも経費で落とす社長も意外に多い。こうした社長は皆、理由の違いこそあれ、共通するのは問題を先送りしてしまいがちなこと。だからこそ「変わりたくない」と考えてしまう。
(参考:「週刊東洋経済」2020年9月12日号)

ワンポイント経営アドバイス

ITを知るエンジニア的素養が必要 (これからの経営者)

1. 戦後から高度成長期、バブル崩壊まで製造業が日本経済をけん引した。ゼネラリストとしての総合職が販売を担い、エンジニアはものづくりに集中する。作る部分と売る部分が分かれていた。このモデルの製造業が長く日本の中心であり、現実に世界で成功した。「文系」「理系」の役割分担は企業だけでなく、社会にもなじんだ。
2. しかし今や、働き方や売買、行政手続きなど社会の様々な分野でデジタルツールが前提になろうとしている。ITを知るエンジニア的な素養がなければ適切な意思決定ができなくなった。米国をみると、ビル・ゲイツ氏のマイクロソフトやマーク・ザッカーバーグ氏のフェイスブックなどエンジニアとしてのバックグラウンドを持つ経営者が率いたIT企業が大きく成長した。

(参考:「日経ビジネス」:2020年9月21日号)

人事・労務について

日本人の情

千 玄室 (茶道家千家前家元)

1. 何かよくないことが起った時、人は誰しも自分や自分に近い人でなくてよかったと思うことは、自然な気持ちの発露であろう。そして次に、その当事者への気遣いが生まれる。これも人としての情があれば当然の流れである。それにも拘らず、今回の新型コロナウイルス感染症の折にも詐欺行為が多発していた。本当に嘆かわしいことである。
2. 夏目漱石は「草枕」の中で「智に働けば角が立つ。情に棹させば流される。意地を通せば窮屈だ。とかく人の世は住みにくい」と書いている。世の中にはいろいろな人がおり、その中で折り合いをつけて生きているのだ。しかし、この考え方は日本人の情から来ているのではなかろうか。島国で神の存在を崇めてきた文化に培われていると思うのである。

(参考:「致知」2020年11月号)

古典に学ぶ

国家社会に眼を置く

(解説) 試みに社会の現象を見よ。人は往々にして利己主義の極端に馳せ、利のためには、何事も忍んでなすの傾きがあり。今では国家を富強にせんとするよりも、むしろ自己を裕福にせんとする方が主となっておる。孔子が「賢なる或回や」と、顔淵の清貧に安んじておるのをほめられた言葉だ。富は必ずしも悪いものではないが、国家社会を眼中に置かぬというは慨すべき極である。

(参考: 渋沢栄一「論語と算盤」: 国書刊行会)